

---

# バスケの仙龍

keizi016

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
バスケの仙龍

【Nコード】  
N2435K

【作者名】  
keizii016

【あらすじ】  
おもにバスケ中心です

大して面白くありませんよ

## こんにちわ仙龍

ある春の日

ここは仙龍中学なにがスゴイ的なものがないフツーな学校

ここに一人の少年が入学してきた

1 - 6 の教室では終礼が行われていた

担任は山本ちよつとうざいおじさんだ

【今日はクラブ見学だぞ】おじさんが言った後みんながざわつく

クラブはどこに行くなどざわざわしている

みんながクラブに行こうとするときある一人の少年は山本先生に会いに行った

【先生…バスケ部はないのですか??】

先生は少し考えてから言った【聞いてみるよ】

とりあえず家に帰り明日を待った

次の日の朝山本は少年を呼んだ

【バスケット部はないらしい。だがそれじゃあ我慢ならいだろ、だからお前が創れ】

どうやら許可は下りているらしい。

一応メンバー集めを呼び掛けてくれるみたいだ

クラブの体育館はほかのクラブが使っていないためいつでも使える

午後になりいよいよメンバー紹介だ。

山本が僕に指をさす。僕は軽くうなずき

【僕の名前は鋳<sup>かすがい</sup>零<sup>れい</sup>ですポジションはおもにG、身長は163cm

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2435k/>

---

バスケの仙龍

2010年10月21日21時07分発行